

組合等機能強化・価値向上プロジェクト

今年度、多様な課題解決を目指す中小企業組合等を対象に、組合員実態調査の実施や新製品・新サービスの評価検証、将来ビジョンの策定や組合のイメージアップに向けたメディア戦略の立案、並びにコンテンツ策定等の支援を行います。

本事業は「事業運営委員会」を設置し実施するもので、群馬県コンクリートブロック事業(協)、群馬県パン(協)が、第1回目の事業運営委員会を開催しました。

また、この他2組合が、本事業に取り組み、直面する課題解決に向けて動き出します。

群馬県コンクリートブロック事業協同組合

◆テーマ◆

SDGs 循環型社会における持続可能で安心安全な生活を守るブロックの活用法

◆事業内容◆

コンクリートブロックの安全性やSDGs等の社会的要請に対応する魅力的な建材であることを訴求する手段として組合HPやYouTube動画等の制作に取り組む。

8月2日、前橋市・組合事務所において第1回委員会を開催し、如何にしてコンクリートブロックの魅力発信するかについて検討を行った。外部専門家には、ブロック建築に詳しいh+A日比野建築計画室代表・一級建築士の日比野英俊氏に入ってもらい、建設現場の実情、エンドユーザーのニーズ等について助言をもらった。

外部専門家のアドバイス

コンクリートブロックの魅力を発信する場合、「火災や衝撃に強いという特性をPRするよりも、塀以外の用途の提案



専門家の日比野氏

を行うこと。さらに、コンクリートブロックは、リサイクルや省エネ等に貢献し、SDGsの目標達成を実現できるエコ建材であることを強調していくべきではないか」とアドバイスを行った。



業界委員3名と本会職員で事業運営委員会を開催

委員会による現状把握と課題解決に向けて

今回の委員会では、業界の置かれている現状について活発な意見交換が行われた。今後の予定としては、業界としてPRすべきポイント、コンクリートブロックの魅力を整理し、周知するターゲット、サブターゲットを絞り込んだ後、具体的なHPメニューの構成や動画制作について検討を行っていくこととなった。

支援事業が始まる



群馬県パン協同組合

◆テーマ◆

学校給食管理システム導入による組合内事務業務の効率化と一元化

◆事業内容◆

学校給食事業は、受発注に係る事務作業が非常に煩雑であるため、組合で統一した「オンライン受発注」システムを構築すべく、各組合員の業務フローの把握や、システム化に伴う課題の抽出と改善策の検討を行う。

8月4日、Zoomを使って第1回委員会を開催し、学校給食管理システムの導入に向け、外部専門家によるシステムの紹介並びに、システム導入に向けて検討を行った。

外部専門家のアドバイス

外部専門家より、学校給食管理システムが他県組合で導入されている状況を紹介。その後、同システムのテスト版を使って、システムの画面構成や操作性・活用方法を示した。

また、システム導入の最大の効果は、給食センター等からのFAX注文情報をパソコン等へ入力する作業時間が大幅に削減することであると説明。

一方、システム導入に向けた課題は、組合員が

システムを導入することに対して同意し、スケールメリットを得ること、さらに、発注先である給食センター等に対して、新たなシステム運用への協力を得ることが大切であるとアドバイスを行った。

委員会による現状把握と課題解決に向けて

組合員が取り扱うパンの種類、形状、包装単位等システム構築に必要な基本情報の洗い出しを行った。加えて、各社が必要とする請求書、製造指示書、納品書など出力帳票の検討も行った。

今後は、組合員にとってシステムの最適化を目指すため、給食用パン・米飯を取り扱う組合員の工場を訪問し、受注から出荷までの工程分析やITインフラ状況等の把握を行うこととなった。



事業運営委員会はオンラインで実施